



# 山田様 5月 数学勉強法

<b>数学の勉強法の前提</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解法の習得は問題を見た瞬間に解けるかで判断</li> <li>・日頃の計算から速さや正確さだけではなく、自分の間違える癖、計算ミスしない工夫意識をする</li> </ul>
------------------	--

<b>数学 I A</b>			
使用参考書	基礎問題精講 I A		
ペース	1日基本的に3題	範囲	
学習目的	数学 I A の基礎的な解法を習得する		
使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解き方が簡単に思いつく場合 そのまま解き進める。答えを見る前に精講に書いてある内容を自分で想定し、答えの確認、精講の内容を見比べる。</li> <li>・解き方がぱっと思いつかない場合 解答を見て解き方を学ぶ。ただ解答を見るだけでなく、自ら手を動かして解答を書いて覚える。まずは理屈を理解した上で、体に染み込ませる（理屈と感覚）の両方を使って習得する。</li> </ul>		
注意点	36, 37, 45, 46, 70, 75 が特に重要な問題 これらの問題について <ul style="list-style-type: none"> <li>・復習を3回以上行う</li> <li>・誘導がなくても解けることができるようにする</li> <li>・初見の人に自分で解説できるレベルで理解する</li> </ul>		

<b>数学 II B</b>			
使用参考書	基礎問題精講 II B		
ペース	1日基本的に3題	範囲	
使用目的	数学 II B の基礎的な解法を習得する		
使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解き方が簡単に思いつく場合 そのまま解き進める。答えを見る前に精講に書いてある内容を自分で想定し、答えの確認、精講の内容を見比べる。</li> <li>・解き方がぱっと思いつかない場合 解答を見て解き方を学ぶ。ただ解答を見るだけでなく、自ら手を動かして解答を書いて覚える。まずは理屈を理解した上で、体に染み込ませる（理屈と感覚）の両方を使って習得する。</li> </ul>		
注意点	23,26,30,40,42,45,48,49,51,54,55,56,60,61 が重要な問題 これらの問題について <ul style="list-style-type: none"> <li>・復習を3回以上行う</li> <li>・誘導がなくても解けることができるようにする</li> <li>・初見の人に自分で解説できるレベルで理解する</li> </ul>		